

2012年
クイーン倶楽部だより ④ 月号
第112号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL http://www.eco-rice.jp/
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



講演中、参加者に「米粉クッキー」を試食していただきました。

講演後、ステージにて。どこでもモンペとワラジが白藤プロジェクトの鉄則！

第5期 白藤プロジェクト
フーデックスジャパン
日本最大の食品・飲料展 **FOODEX JAPAN 2012**
白藤プロジェクト 高橋リーダー
米粉スイーツの開発ストーリーを熱弁！

幕張メッセで4日間開催された、アジア最大級の国際食品・飲料展FOODEX JAPAN(フーデックスジャパン)2012。国内外の食品会社が一堂に会するこのイベントのメインステージで、白藤プロジェクトの活動を発表を行いました。

今回のテーマは「女性目線」ということで、フードアクションニッポンアワードで優秀賞を受賞した白藤プロジェクトにオファーが舞い込みました。

米粉の普及と、バリアフリーなスイーツをコラボレーションさせた、小麦・卵・乳を使わない米粉スイーツの開発経緯をモンペとワラジ姿の高橋リーダーが1時間熱く語りました。



フーデックスジャパンとは

今年で37回を数える、世界中の食品・飲料が一堂に会し、食品業界のビジネス拡大支援と最新のトレンドを発信するイベント。

ドクター
中村の

健康徒然記

その14

呼ぶ声は臨終間際まで聞こえる



中村 信也(なかむら のぶや)
医学博士、東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療の医療薬膳研究の第一人者」として活躍中。

いま、山梨の病院から帰ってきたところです。月に一回救急医で出かけます。土曜日夕方から日曜日夜八時まで一人で救急医療をやります。なぜ、老体に鞭打つてやっているかといえば、救急する若い医師がいないのです。若い人は流行に敏感で、救急で何かがあると、医師は悪く患者は正のマスコミの独断哲学でいじめますので、外科救急医が激減した次第です。何でもできる救急医はもはや絶滅危惧種で天然記念物扱いで、大事にされお呼びがかかっています。

本日の朝、脳卒中のおじいさんがあの世に旅立たれました。最近はその世への旅立ちには自然にということで、昔のように八十何歳の人に長針で心臓内に注射したり、肋骨が折れるまで心マッサージを続けるようなことはしません。あくまでも静かな見送りです。モニターで心臓が脈拍を打たなくなった時点で臨終を告げます。

そのモニターを眺めていますと、心臓は明らかに家族の呼びかけに反応するといつことですが、意識はなくても声は聞こえていると解釈できます。だから、生を長引かそうするには、家族に耳元で呼びかけてもらいます。

以前に一番可愛がっていた孫が未だ来ない、何とかもたせてくれと頼まれましたので、家族に耳元でさややくように指示しました。反応しますが、それでも限度があり、いよいよという間際に「おじいちゃん」と孫が呼びながら部屋に入ってきました。すると脈拍が七十くらいまで再び打ち始めました。五分後くらいには臨終となりましたが、家族は感謝してくれました。その様子を横にいた看護師さんに「な、聞こえているだろう」とさややく言いますと、彼女は「うん」と頷を縦に大きくふっていました。

臨終間際まで人の声は聞こえていると、経験上いえます。本日も家族が一人ずつ耳元でさややく儀式を行い、「三途の川の向こう岸に行ってください」と告げ、臨終時間となりました。故人は船に揺られ皆の声を聴きながら幽明界を異にしてゆくの、理想の送り方と信じています。